# 経済学部(経済数理学科・現代経済学科 共通) 2026 年度 AO マルデス入試 二次審査課題

成蹊大学 経済学部

### 1. 二次審査について

二次審査は約 40 分間の事前学習確認審査と約 20 分間の発表審査です。課題の文献資料を正確に理解・分析し、それをもとに自分自身の考えを表現する力を審査します。二次審査の注意事項に関しては、「AO マルデス入試要項 2026」の 17~18 ページをご確認ください。

#### 2. 課題となる文献資料

日本銀行調査論文の「脱炭素社会への移行過程におけるわが国経済の課題:論点整理」(著者: 倉知 善行・ 森島 元・河田 皓史・柴田 亮・文谷 和磨・茂木 仁、2022 年 4 月)。

※29 ページから 33 ページの補論 I および補論2の内容は、事前学習確認審査には出題される可能性があるが、発表要旨(レジュメ)には含めない。

文献資料は、以下のウェブサイトから閲覧・入手可能です。

https://www.boj.or.jp/research/brp/ron\_2022/data/ron220415a1.pdf

# 3. 事前学習確認審査について

課題となる文献資料を参照しつつ、それにもとづいた<u>筆記試験</u>を行います。文献資料を正確に理解し、分析に必要な基礎力を審査します。

- 参照用の文献資料は、全部または一部を抜粋した物を解答用紙と共に配布します。自身で印刷した文献 資料の持ち込みは認めません。
- ▶ 受験生は試験開始 30 分前までに試験場に入り、着席してください。
- 試験開始後20分以降の試験場への入場は、特別の事情がない限り認められません。

## 4. 発表審査について

課題となる文献資料を正確に理解・分析し、それをもとに自分自身の考え方を表現する力を、対面による個人面接で審査します。審査は以下の3つの内容で構成されます。

- ① 発表要旨(レジュメ)にもとづく 10 分間のプレゼンテーション。
- ② 発表内容やレジュメに関する5分程度の質疑応答。
- ③ 志望理由や活動歴などについての自己アピール(2分間)と質疑応答。
- ▶ 以下の内容の発表要旨(レジュメ)を日本語で作成してください。
  - ・ 上記 2 の文献資料の内容(ただし、文献資料の 29 ページから 33 ページの補論 l および補論 2 は除く)を A4 用紙の半分程度にまとめること。
  - ・ 上記 2 の文献資料で得た情報を「自分の将来にどう生かすか」について、I 点以上の別の参考文献と 共に比較・検討・考察し、A4 用紙の半分程度にまとめること。
  - ・ 受験番号と氏名を右上に記入してください。(手書きでも構いません。)
- ▶ レジュメの作成については「AO マルデス入試要項 2026」の 18 ページをご確認ください。
- プレゼンテーションは、自身で印刷した上記2の文献資料、レジュメおよびメモやノートを手元に置き、参

照しながら発表することが可能です。

- ▶ レジュメ作成に際してはパソコンなどを用いて構いませんが、発表審査時にはデジタルデバイス(スマートフォン・パソコン等)の使用は認めません。
- ▶ 発表要旨(レジュメ)を3部印刷してご持参ください。事前学習確認審査開始前にそのうち2部を提出していただきます。
- ▶ 事前学習確認審査を未受験の場合には、発表審査を受験することはできません。

# 5. 問い合わせ先

成蹊大学アドミッションセンター 経済学部担当

TEL:0422-37-3533

Mail:nyushi@jim.seikei.ac.jp

以上